

これからウィッグを使われる方へ

1 ウィッグは「医療用」がよいですか？

「医療用」ウィッグは、頭皮に直接あたる製品として作られています。通気性が良く、縫い目がごろつかない縫製で、裏側の素材が頭皮に優しく、制菌、消臭加工など清潔に保ちやすい設計などの工夫が施されています。

「おしゃれ用」ウィッグは、髪の毛があることを前提に作られています。毛量が少なかつたり、襟足が短かつたりして頭皮全体をカバーできないことがあります。裏側の素材が「医療用」ほどは考慮されていないことがあります。

ウィッグは治療上必要というわけではありません。

ウィッグは、あなたが生き生き過ごすためのアイテムです。

「医療用」でも「ファッション用」でも、洋服と同じようにウィッグを選んでOKです。

自分に似合う、素敵なデザインを探してください。

2 ウィッグの素材は何がおすすめですか？

ウィッグの材質には、人工毛(合成纖維)、人毛、ミックス毛(合成纖維+人工毛)があります。

	人工毛(合成纖維)	人毛
素材	アクリル系またはポリエステルなど	人の毛髪
メリット	スタイリングしやすい 軽い 洗浄後、早く乾きお手入れが楽	自然な質感がある ドライヤーでセットができる パーマやヘアカラーが可能
デメリット	熱や摩擦に弱い セット、パーマ、カラーができない 静電気が発生しやすい	高額 やや重い 退色や枝毛になりやすい においがつきやすい

3 ウィッグの種類は何がありますか？

既製品、セミオーダー、フルオーダーがあります。

また、全頭をカバーするフルウィッグから、必要な部分だけを補う部分ウィッグなどがあります。

既製品はスタイルがある程度決まっているので、自分に合うスタイルを選びます。

比較的安価(1-9万円)です。

セミオーダーは、スタイルや毛質などをいくつかの選択肢の中から選ぶことができます。
価格は10-30万程度。

フルオーダーは、頭の型どりをして、スタイルや色、毛質などを自由に選べ、自分の頭の型を取って合わせるので、フィット感があります。価格は高く(30-100万円)、手元に届くまで1-3か月かかることがありますので、余裕をもって準備しましょう。

4 ウィッグはどこで購入すればよいですか？

県内にウィッグの対面販売店舗があります。(詳しくは福島県ウィッグマップ)
既製品でも万単位の費用がかかります。
販売店舗はカットやメンテナンスのサービスが受けられるメリットがあります。

インターネットの通信販売で購入することができます。
購入前に試着ができないことがあるので、インターネットで購入される場合には、「返品できるか」
チェックしておくと安心です。

5 ウィッグの価格はどのくらいですか？

数千円から数十万まで様々です。1~5万円で購入される方が多いです。
高いからいい、安いからいいのではなく、自分が一番ないとおもうものを選びましょう。

6 ウィッグはカットやサイズ調整はできますか？

店頭販売で購入した場合には、購入した店舗でカットやサイズ調整のサービスが受けられることはほとんどです。
インターネットの通信販売で購入した際も、ウィッグの専門メーカーでカットやサイズ調整をしてくれる店舗があります。(詳しくは福島県ウィッグマップ)
いつも通っている理美容室で切ってもらえることもあるので、聞いてみましょう。

7 男性用、女性用、どちらを使ってもいい？

好みとサイズが合えば、男性でも女性用をカットして使えるし、女性で短い髪型がよければ、
男性用を使用できます。

8 ウィッグの保管、お手入れ方法を教えてください

ウィッグ、特に人工毛は、静電気が起こると傷みやすいので、着用後はブラッシングをして、ほこりや
もつれを取り、形状を保てる状態で保管します。
人工毛とミックス毛は熱に弱いので、水洗いのあと、ドライヤーの冷風、または自然乾燥させます。
人毛はぬるま湯で洗い、ドライヤーでの乾燥ができます。
どの毛質の場合でも、週に1回は、できれば専用シャンプーの利用をお勧めします。
汗をかいて気になる場合は、その日のうちに洗いましょう。
ウィッグの販売店ではメンテナンスやクリーニングを行っているので利用するものよいでしょう。

9 暑い時期はどうしよう？

ウィッグは地毛よりも地肌に汗が流れるので、より不快
に感じことがあります。ウィッグと頭皮の間に汗取り用
の布を挟むと汗対策になりますよ。1日使ったウィッグの
内側には、消臭スプレーをしておくのがおすすめです。

詳しく知りたい方はこちら

説明資料はこちら

説明動画はこちら

